

投資先企業限定  
葛屋重二郎と葛飾北斎を学ぶ

〜江戸時代小説家とめぐる大河ドラマミニアース〜



富嶽三十六景 神奈川  
浪裏  
葛飾北斎

## ※お申込み方法・お申込み締め切り

- ▶ 下記URLにアクセス頂き、セミナー一覧より本セミナーを選択し、申し込みのお手続きをお願い致します。

東京中小企業投資育成 セミナー情報

検索



(QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。)

【個人情報の取り扱いについて】

ご記入いただきました個人情報は、参加者名簿としてご参加者に配布し、またセミナーの企画・運営・実施のため使用する他、関連するアフターサービス、必要な情報の提供及び投資育成制度に関する各種ご案内のために使用します。

- ▶ お申込み締め切りは**11月21日(木)まで**となります。

## ※参加条件・参加費

- ▶ 先着10名様。投資先の経営者様ご夫婦でのご参加も大歓迎です。
- ▶ 1名5千円(税込)

## ※当日の持ち物・その他

- ▶ 参加費5千円は当日ご持参ください。
- ▶ 事前に書籍「**蔦屋重三郎と江戸文化を創った13人**／車浮代先生【著】」をお送りします。先生からサインを頂けますので、よろしければご持参ください。
- ▶ 参加者同士で交流頂きたいので、名刺をご用意ください。
- ▶ 懇親会では桜鍋を含む桜肉づくしコース料理が提供されます。



## ■緊急連絡先

投資育成会社 渡邊	携帯：080-2099-9958
投資育成会社 中村	携帯：070-2832-0715

## ご集合日当日のご案内

ご集合日	2024年11月28日（木）
受付時刻	13時30分～13時50分
受付場所	<b>東京東信用金庫・本部10階講堂</b> 東京都墨田区両国4-35-9

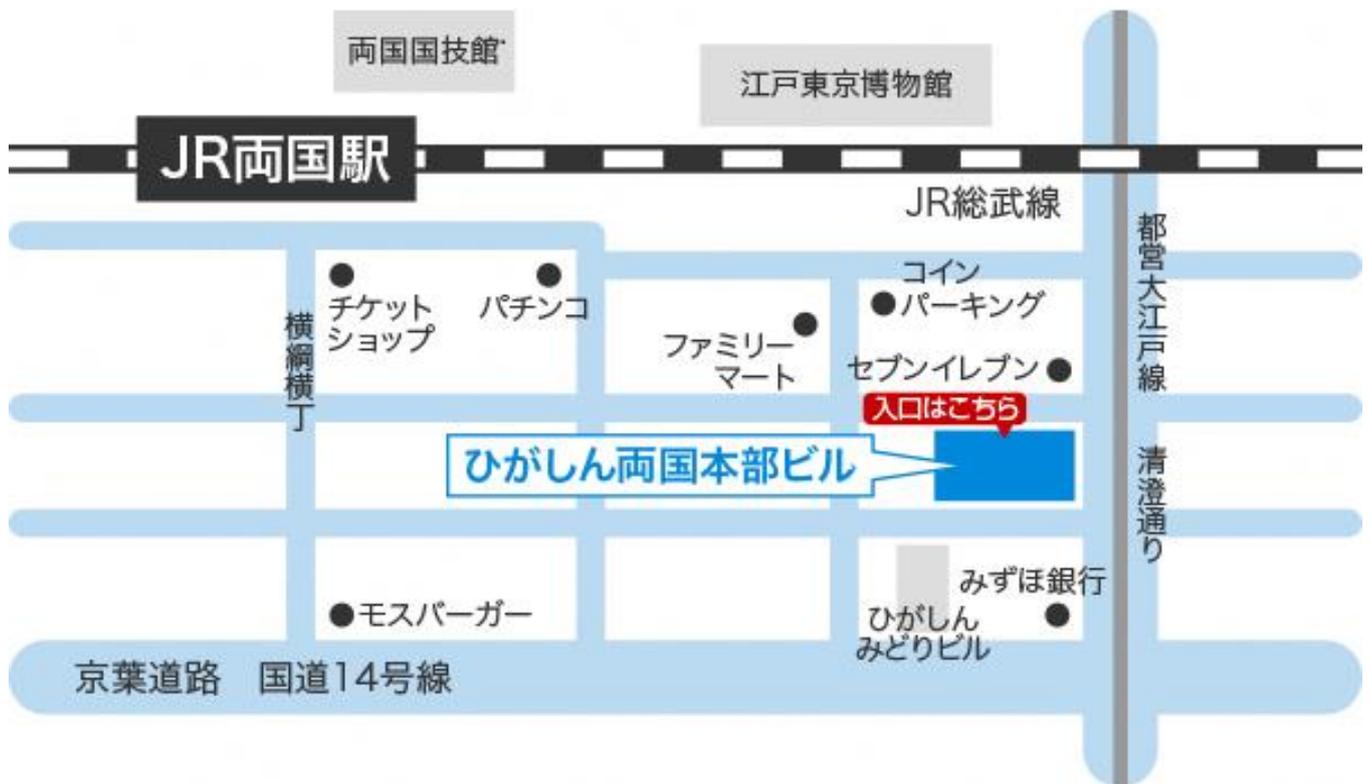
本部



ご参考：両国支店  
(本部建屋と一体)



➤ 投資育成会社の職員が本部入口（駐車場付近）にて、待機しております。



- JR総武線「両国駅」東口より徒歩5分
- 都営地下鉄大江戸線「両国駅」A4出口より徒歩2分

(東京東信用金庫HPより引用)

## 当日のスケジュール

13:30~13:50	東京東信用金庫・本部10階講堂にて受付（集合） 東京都墨田区両国4-35-9
13:50~14:10	すみだ北斎美術館学芸員による葛飾北斎、同美術館に関する講義
14:10~14:30	葛飾北斎像、榛稲荷神社（葛飾北斎住居跡）を視察。 視察後、すみだ北斎美術館に徒歩で移動（約5分程度）
14:30~15:00	美術館を学芸員の方にご案内頂きながら見学 東京都墨田区亀沢2-7-2
15:00~15:30	タクシーで移動、桜なべ中江別館金村へ
15:30~16:20	車浮代先生のご講演
16:20~16:50	車浮代先生のご案内でべらぼうの舞台（吉原神社など） を徒歩で散策
17:00~19:00	懇親会：“桜なべ中江” 東京都台東区日本堤1-9-2 （桜なべ中江の店舗建物は登録有形文化財に指定されています。）

<桜なべ中江> 懇親会場



- ・築百年になる店舗建物は登録有形文化財に指定されています。

<桜なべ中江別館金村> 講演会場



- ・吉原最後の料亭「金村」を中江四代目店主が引継ぎ、新しく生まれ変わらせたお店。

（桜なべ中江・桜なべ中江別館金村HPより引用）

## 本研修会ご協力者様のご紹介

➤ 車浮代先生、澁谷館長、柘会長には終日ご一緒頂く予定です。

江戸料理文化研究所 代表 ／ 時代小説家	車 浮代 さま	
桜 な べ 中 江 四 代 目 店 主	中江 白志 さま	
すみだ北斎美術館 館長 ／東京東信用金庫 特別顧問	澁谷 哲一 さま	
柘 製 作 所 代 表 取 締 役 会 長 ／開運！なんでも鑑定団 ・鑑定師（近代工芸）	柘 恭三郎 さま	

## 車浮代先生のご紹介

- 1964年大阪生まれ。  
江戸文化、特に浮世絵と江戸料理に造詣が深い。  
大阪芸術大学デザイン学科卒業。
- 映画監督・新藤兼人氏に師事し、シナリオを学ぶ。現在は作家の柘いつか氏に師事。
- 著書は『蔦重の教え』『気散じ北斎』『蔦屋重三郎と江戸文化を創った13人』  
など約25冊。以降、続々刊行予定。
- 『第18回シナリオ作家協会 大伴昌司賞大賞受賞』  
『第9回講談社時代小説大賞最終選考ノミネート』  
『第6回日本シナリオ大賞 最終選考ノミネート』

(車浮代オフィシャルサイト・桜なべ中江HP・すみだ北斎美術館HP・産経新聞記事より引用)

## 2025年大河ドラマ『べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～』

概 要	<p>2025年（令和7年）1月5日から放送予定のNHK大河ドラマ第64作。</p> <p>葛飾北斎、喜多川歌麿、山東京伝、滝沢馬琴らを見出し、東洲斎写楽を世に送り出したことで知られる“江戸のメディア王”蔦屋重三郎（1750-1797）</p> <p>通称「蔦重」の波乱万丈の生涯が描かれます。</p>
制 作	<p>脚本：森下佳子さん</p> <p>代表作に「世界の中心で、愛をさけぶ」「JIN -仁-」「義母と娘のブルース」連続テレビ小説「ごちそうさん」大河ドラマ「おんな城主 直虎」など。</p> <p>第32回向田邦子賞（「ごちそうさん」）、第22回橋田賞受賞。</p> <p>主演：横浜流星さん</p> <p>近年の出演作はドラマ「私たちはどうかしている」、「着飾る恋には理由があって」「流浪の月」「アキラとあきら」など。第4回アジアコンテツアワード ニューカム賞、第14回TAMA映画賞 最優秀新進男優賞、第47回報知映画賞 助演男優賞、第46回日本アカデミー賞 優秀助演男優賞などを受賞。</p> <p>大河ドラマおよびNHKドラマは初出演。</p>
蔦重との関係	<p>「富嶽三十六景」などの名作で世界的に知られる葛飾北斎も、蔦屋重三郎のもとで浮世絵を刊行したひとりです。</p> <p>蔦屋重三郎は、葛飾北斎を次代のスターと目していたとされますが、蔦屋重三郎自身が48歳で病没してしまったため、本腰を入れて葛飾北斎をプロデュースすることは叶いませんでした。</p>

（NHKウェブサイト・名古屋刀剣博物館ウェブサイトより引用）